

# 職業奉仕活動 実践の手引き

## ～ ポイント集（事例紹介付き）～

2019年11月

国際ロータリー第2660地区

2019-2020年度職業奉仕委員会

## はじめに

2018-19 年度のクラブ職業奉仕委員長会議において実施いたしましたアンケートでは、各クラブの委員長の皆様から多くのご意見をいただきました。

その中で、職業奉仕活動に関して、今までそれほど多くの経験をしてされていないクラブの委員長の方々からは、具体的にどのように進めたらよいか、あるいは新しい企画をしたいと思うがどのように始めたらよいか、といったお問合せをいただきました。

そこで、2019-20 年度の職業奉仕委員会といたしましては、そのお問合せに応える形で、基本的な手引きを作成することにいたしました。

職業奉仕活動を新たにスタートしようというクラブの委員長の皆様にとってはその羅針盤として、またすでに多くの活動をしているクラブの委員長の皆様にとっては、その活動を見直し、より価値のあるものするためのご確認の手引きとして活用していただければ幸いです。

この手引きの作成にあたりましては、下記の3点に注力をいたしました。

- 1) 職業奉仕の理念そのものの解説については他に譲り、職業奉仕活動を行う際の基本的な視点を簡潔に示すこと
- 2) 職業奉仕活動を行う際の、基本的かつ標準的な方法と手順を示すこと
- 3) 上記1) 2) の参考となる具体的事例を紹介すること

あくまでも基本部分に徹して記載しておりますので、委員長の皆様がさらに深く多様な研究に取り組んでいただくとともに、各クラブにおいて、独自の努力と体験に基づいた実りある活動をしていただくことを、心より祈念いたしております。

2019年11月

国際ロータリー第2660地区  
2019-2020年度職業奉仕委員会

## 目 次

はじめに

ポイント 1 職業奉仕活動の種類と分類

ポイント 1-1 職業奉仕活動の種類と人づくり

ポイント 1-2 他の奉仕との関係

ポイント 1-3 その他の職業奉仕活動の開発

ポイント 2 職業奉仕活動の実践にあたって「大切なこと」

ポイント 2-1 「大切なこと」とは？

ポイント 2-2 「大切なこと」を事例で考えてみましょう！

ポイント 3 職業奉仕活動の計画策定と振り返り

ポイント 3-1 計画策定と振り返りの手順

ポイント 3-2 訪問先等の選定

ポイント 3-3 ノウハウ等の蓄積と共有

ポイント 3-4 職業奉仕活動の「計画振り返りシート」 ひな型

おわりに

～職業奉仕活動を実りあるものにするために

### 事例紹介

事例 1 大阪ロータリークラブ

事例 2 大阪西ロータリークラブ

事例 3 大阪東南ロータリークラブ

事例 4 大阪船場ロータリークラブ

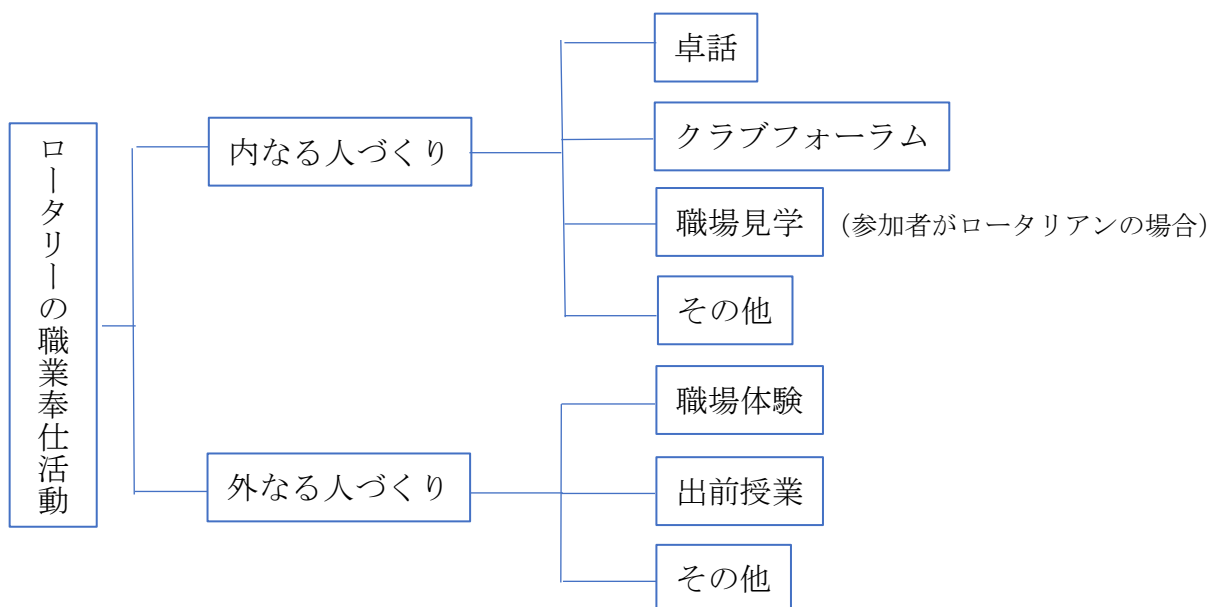
## ポイント1 職業奉仕活動の種類と分類

### ポイント1-1 職業奉仕活動の種類と人づくり

多くのクラブが実践している職業奉仕に関連する活動としては、概ね以下の6つがあげられます。

- 1 卓話（職業奉仕関連）
- 2 クラブフォーラム（職業奉仕部門）
- 3 職場見学
- 4 職場体験
- 5 出前授業
- 6 その他（職業奉仕研修会、専門相談会、職業観冊子作成など）

また、これらを「人づくり」という視点から、「内なる人づくり」「外なる人づくり」に分けますと、概ね下記のようになります。



## ポイント 1-2 他の奉仕との関係

ポイント 1-1 で示しました人づくりの分類で、特に「外なる人づくり」に関連する活動は、社会奉仕や青少年奉仕ではないのか、という考え方があります。

これについてはさまざまな考え方がありますが、最も一般的な考え方が、『ロータリーの職業奉仕入門 (Q&A) 【改訂版】』の Q17、Q20 に記されています。

下記にそれを示しますが、絶対的な「正解」というものがあるわけではありません。皆様も研究を深め、議論を交し、考え方を整理していただきたいと思います。

\*\*\*\*\*

Q 1 7 職業奉仕と社会奉仕は、どう区分するのでしょうか？

A 区分するのが難しいと言われておりましたが、自分の職業に関連する活動は、基本的に職業奉仕であり、それ以外の奉仕は、社会奉仕活動に含まれるということでありました。しかし、1989 年に採択された「ロータリアンの職業宣言 (Declaration for Rotarians in Business and Professions)」では「青少年や地域社会に対する技術提供」という表現で、「職業人としての社会奉仕」を職業奉仕と認めています。また、2016 年の規定審議会の結果、“クラブが開発したプロジェクトに応える” のも、職業奉仕活動であるという事になりました。これにより、職業奉仕活動の範囲が大きくなりました。このような状況の中から、職業奉仕はロータリーの根幹か？という議論が、交わされるようになりました。

一つの職業奉仕活動には、職業奉仕の要素と、社会奉仕の要素とが混在しているものとするのが相当だと思います。例えば、出前授業を例にすると、講義を行う会員自身は、“職業上のスキルや知識、職業観などを活かす活動”として、職業奉仕活動に区分されますが、参加する他のロータリアンにとっては、社会奉仕活動あるいは青少年奉仕活動に区分されるのではないのでしょうか。

しかしながら、その行事を、“クラブが開発したプロジェクト”と考えると、参加するすべてのロータリー会員の職業奉仕活動になるでしょう。海外での医療奉仕活動を行う会員の場合には、職業奉仕活動と国際奉仕活動（社会奉仕）のいずれにも区分できると考えられ、この部分については、各クラブの判断にゆだねる事となります。

専門職業人が、出前授業や自己の職業に関する奉仕活動を行った場合、受益者が、その職業人という場合には、職業奉仕となり、それ以外は、社会奉仕活動だ

という考え方がありましたが、「クラブが開発したプロジェクトに応える」ものと考えられるならば、職業奉仕活動になります。

Q 20 職業奉仕では、参考事例として、出前授業や職場見学が、挙げられていますが、これはロータリーのやるべきことでしょうか？

A 出前授業や職場見学は、R Iにより参考事例として示されています。これらは、会員の職業に基づく奉仕活動として、簡潔明瞭な活動です。奉仕の対象を若い世代とする場合、ロータリアンは、職業をベースとして、これまでの人生の中で、多くの財産を持っておられます。それを次世代に引き継ぐことは、有意義なことだと思います。出前授業の意義を考え、また職場体験を通じて、次の時代を担う人を育てるのは、ロータリー精神の神髄です。しかしこれに固執することなく、ロータリー会員及び各クラブは、常に社会の変化に対応した奉仕を検討し、時代に合った奉仕プロジェクトを開発していく必要があります。出前授業は、「外なる人づくり」の例の一つでしょう。

\*\*\*\*\*

### ポイント1-3 その他の職業奉仕活動の開発

ポイント1-1で例示した職業奉仕活動以外にも、おそらく多くのバリエーションが存在するだろうと思います。

自分のクラブで従来から続いている活動を引き続き実施することも大事だと思いますが、一方で、新しい職業奉仕活動を生み出し、仕掛けてみることも大切ではないでしょうか。

国際ロータリー第2660地区の各クラブにおきましても、職業を活かした相談会や講習会、各種教室の開催、会員の職業奉仕の考え方をまとめた冊子の編纂、経営理念の学習など、職業奉仕に関する活動について多くの工夫が見られます。

もちろん、その際にも、ポイント2で後述しますように、「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」という視点は、忘れてはならないでしょう。

## ポイント2 職業奉仕活動の実践にあたって「大切なこと」

### ポイント2-1 「大切なこと」とは？

ポイント1-1で示しましたさまざまな職業奉仕活動を実践する際に「大切なこと」は何でしょうか。いろいろな考え方があってよいのですが、「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」という視点は、欠かせないのではないのでしょうか。

そして「ロータリーの職業奉仕」と言える視点の中に、「四つのテスト」「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」などの基本理念や、「内なる人づくり」「外なる人づくり」といった考え方が含まれるのです。

以上のことを再確認するために、『ロータリーの心と実践(2015年3月改訂版)』(2015年3月 国際ロータリー第2660地区 研修委員会)に記載されている文章を引用いたします。

\*\*\*\*\*

・・・職業奉仕とは、職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねることです。それによって、自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在にすることが出来るのです。また、それによって日々の奉仕活動が行いやすくなり、効果も向上する筈です。

ここで大事なことは、ロータリアンは日々の仕事を通して生きる力の根本である自らの道德的能力を高め、それを社会に反映させることを使命と考えて努力しているということです。すなわち、ロータリアンは日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人たちの模範となり、生きる力の根源である道德的能力を向上させることに努めているのです。このような仕事の仕方をロータリーでは、職業奉仕と呼んでいます。皆さんが真のロータリアンであるか否かは、皆さん自身とその職場が社会の規範となるように努力することを自己の使命と考えているか否かにかかっているのです・・・

\*\*\*\*\*

## ポイント2-2 「大切なこと」を事例で考えてみましょう！

### (1) 職場見学

たとえば、最新のロボット工場の職場見学を実施したとします。

その見学が「よかった、面白かった、ためになった・・・」で終わったのでは、他の機関や団体が行う多くの見学との違いがあまりわかりません。「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・？」という視点を常に持つ必要があるのではないのでしょうか。

例をあげますと、

- ・見学先の経営者や工場の現場社員は、どのような考え方（仕事に対する姿勢、社会貢献への思い、職業観、やりがい）を持って働いているのだろうか。
- ・そこで学び感じたことを、自分たちロータリアンの会社の経営、仕事にどのように活かしていけば「人づくり」につながるだろうか。

といったような視点を意識し、考えながら臨む必要があるのです。それでこそ「ロータリーの職業奉仕」につながるようになります。

### (2) 職場体験

職場体験は、ロータリアンやその周辺の方々の職業現場において、主として青少年に対して、働くことを体験してもらう場を提供する活動です。ここでも「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」という視点が必要です。

たとえば、青少年が、働くことの意味、礼儀作法、協働の大切さ、社会貢献への意識などを体で感じ、一人ひとりの将来に対する夢や希望、目標、働きがい、生きがいにプラスの効果をもたらす機会になる、といったことが大切になるでしょう。

さらに、そういった機会を提供したロータリアン自身も、青少年と時と場をともにすることによって、若者からエネルギーをもらい、彼らの考え方、ものの見方を学び、自らの職業に役立てるという姿勢が必要になります。

これが、「ロータリーの職業奉仕」につながるポイントです。



### (3) 出前授業

出前授業は、ロータリアンが自らの職業を通じ、事業生活の中で青少年を育成するという奉仕の理念に基づき、幼稚園から大学までの学校に出かけて行って授業を行うものです。

それでは、他の機関が行う出前授業との違いはどこにあるのでしょうか。

やはり、「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」という視点が大事になります。

『ロータリーの職業奉仕入門 (Q&A) 【改訂版】』の Q21 には、下記のような回答が見られます。これを一つの参考にして、前向きに取り組んでいただきたいと思います。

\*\*\*\*\*

ロータリー会員は、それぞれの職場で、苦労を重ねて今日の経営基盤を築いて来られた方達です。生々しい苦労話を、若者たちに直接語りかけることで、話の一つつつが、若者たちにとっては、大きな糧として、刻まれることでしょう。心がけねばならないのは、若者たちに、真摯に向かい合う事により、私達ロータリアン自身も、同時に研修を行っているのだという意識が必要だと思います。例えば、出前授業においては、若者たちとの会話の中で、ロータリアン自身も、学び(研修)の時間を共有していたのであり、その中から、ロータリアン自身にとっても、経営の新たなヒントが見出されるかも知れない、また新たな出発点となりうるという事を、考える事が望ましいでしょう。・・・

\*\*\*\*\*

#### (4) 卓話、クラブフォーラム

最後に、各ロータリークラブ内で実施される、職業奉仕関連の卓話やフォーラムについても考えてみましょう。

クラブ内外の方々に講師を依頼して、  
「なんでもいいから職業奉仕についてお話をしてください」  
というのは、あまり望ましいとは言えないのではないのでしょうか。

それぞれのクラブにおけるさまざまな問題意識やニーズにも照らし合わせて、できれば、「ロータリーの職業奉仕」に関するテーマを考えていただきたいのです。

たとえば、  
・「ロータリーの職業奉仕に関する基本理念はどういったものか」  
・「ロータリーの職業奉仕はどのような歴史を辿ってきたか」  
というような職業奉仕の概念をテーマとしてもよいでしょう。

また、ロータリアン自身の問題として、あるいは社会の問題として、  
・「自分の会社の経営に職業奉仕の理念をいかに活かしてきたか」  
・「昨今の企業不祥事は、職業奉仕の視点からはどのように捉えられるだろうか」  
といったテーマを設定してもよいでしょう。

さらに、そういったテーマのお話が、自分たちにとってどのように役立ったかを議論できれば、より望ましいと思われれます。

職業奉仕部門のクラブフォーラムにおいても同様のことが言えます。

職業奉仕活動を実りあるものにするために、「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」の視点をぜひ心に留めておいていただきたいと思います。

## ポイント3 職業奉仕活動の計画策定と振り返り

### ポイント3-1 計画策定と振り返りの手順

職業奉仕活動の計画策定手順は、その活動の種類により少しずつ違いはありますが、おおむね下記の手順で行われています。

#### 【手順1】

実施する職業奉仕活動について「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」の視点を、できるだけ具体的に明らかにする。

#### 【手順2】

具体的な以下の項目を決定する。

- 1) 実施時期
- 2) テーマ
- 3) 講師、訪問先
- 4) 活動スタイル（講義、実演、見学、ワークショップ、それらの混合）
- 5) 講師や訪問先とのフィードバックのあり方  
（例えば、学生の職場体験後の感想文をいかに集め報告するか、など）
- 6) 当日のスケジュールと役割分担

#### 【手順3】

当日までの行動計画（いつまでに、誰が、何をやる）を明らかにする。  
特にロータリアン以外の参加（訪問先等）がある場合には、上記の手順1および手順2について、しっかりと打合せを行う。

#### 【手順4】

実施後、反省会等を実施し、以下の項目を確認する。

- 1) 「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」の視点は実現したか。
- 2) 上記手順2の各項目について、うまくいかなかった点はなかったか。
- 3) 今回の新しい発見、次回への申し送り事項は何か。

### ポイント3-2 訪問先等の選定

職場見学や職場体験で訪問する企業等は、各クラブでさまざまな経緯で決まっていますが、下記に示す4つが代表的なものだといえます。ご参考にしてください。

第1例 自クラブの会員企業等

第2例 自クラブの会員企業の顧客、取引先、業界団体等

第3例 自クラブのエリアの企業、官公庁、公共機関

第4例 自クラブの会員の人脈を活かした企業、官公庁、公共機関

なお、出前授業を実施する学校につきましても、上記の応用で選定可能だと思われませんが、あえて示すと以下の2例となります。

第1例 自クラブのエリアの学校等

第2例 自クラブの会員の人脈を活かした学校等

### ポイント3-3 ノウハウ等の蓄積と共有

継続的に職業奉仕活動を行う場合には、うまくいった点、失敗した点などをノウハウとして蓄積し、そのノウハウを会員間で共有していくことが重要になります。

しかし、ロータリーは基本的に単年度で委員会等のメンバーが変わります。したがって、放っておくと、ノウハウの蓄積もその共有もされずに流れて行ってしまう可能性があります。

ノウハウの蓄積と共有のために最も基本的な行為が、「記録」することです。各クラブで作成している年度ごとの活動報告書や計画書などにすべて反映していれば問題ありませんが、時間が経つと忘れてしまいますので、できれば、計画し、振り返りを行った都度、記録を作成しておくことが望ましいと思われます。

次のポイント3-4では、これらの職業奉仕活動の計画と振り返りを、今まで説明してきた項目を中心に、その都度記録できるひな型を用意しています。参考にいただければ幸いです。

ポイント 3-4 職業奉仕活動の「計画・振り返りシート」 ひな型

職業奉仕活動の種類	職場見学・職場体験・出前授業・その他（ ）	
	計画	振り返り
「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」の視点		実現できた内容
実施時期とその理由		うまくいかなかった点
テーマ		
講師・訪問先等		
活動スタイル		
フィードバック内容		
当日のスケジュールと役割分担		うまくいかなかった点
当日までの行動計画 (いつまでに、誰が、何をする)		うまくいかなかった点
総括（今回の新しい発見、次回への申し送り事項など）		

## おわりに

～ 職業奉仕活動を実りあるものにするために ～

以上、職業奉仕活動を実践する際のポイントおよび具体的な事例について述べてきました。

最後に、職業奉仕活動を少しでも実りあるものにするために大事な三つのことについてまとめておきます。

その、三つのこととは、

- (1) 「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」の視点を大切にする。  
(ポイント 2-1)
- (2) 計画策定をしっかりと行う。(ポイント 3-1)
- (3) ノウハウの蓄積と共有を行う。(ポイント 3-3)

です。

また、今後、皆様方の思いと努力によって、多くのすばらしい職業奉仕活動が生まれることと思います。そのすばらしい活動が、「事例紹介」に次々と追記されていくことを切に期待いたします。よろしく願いいたします。

この『職業奉仕活動 実践の手引き～ポイント集（事例紹介付き）～』をまとめるにあたりましては、国際ロータリー第2660地区の四宮孝郎ガバナー、高谷晋介代表幹事をはじめ、職業奉仕委員会の先輩の皆様大変お世話になりました。

この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

2019年11月

国際ロータリー第2660地区  
2019-2020年度職業奉仕委員会

## 事例紹介

### 事例1 大阪ロータリークラブ

#### 【出前授業】

##### (1) 取組みのきっかけ

まもなく創立100周年を迎える大阪ロータリークラブですが、職業奉仕委員会の活動として出前授業に取り組んでから、さほど長い年月が経過したわけではありません。

このところ毎年実施している「大阪ロータリークラブによる出前事業」の形ができるまでにも、紆余曲折がありました。

クラブの年度活動報告書や会報を遡ってみると、取組みのきっかけは2005-06年度の地区協議会でロータリアンによる出前授業の提案があったことを受けたクラブ職業奉仕委員長が次年度以降への申し送り課題として取り上げたことに始まります。

これを受けた形で2007-08年度の職業奉仕月間には地区職業奉仕副委員長（畑田耕一氏）を招いて例会卓話「小・中学校への出前授業のすすめ」をお願いし、続くクラブフォーラムにおいてもオブザーバーとして議論に参加していただき、大阪ロータリークラブとして積極的に出前授業にチャレンジしているという機運が醸成されました。

#### 《 卓話内容ならびにクラブフォーラムでの意見 》

- ・ 教育課程の多様化や受験偏重という現状のなかで悲鳴を上げる現場教員の窮状を少しでも手助けしたいという思いで出前授業を始めた
- ・ 昔は親は勿論、学校でも教えた「道徳」や、子どもの好奇心を誘う自然科学系の根本原理等について、自らの経験を通じて体得したものを伝授することが必要
- ・ ロータリアンによる出前授業は、現在の教育現場の課題のいくつかを解決する一助となりうる意義深い活動と考える
- ・ 子供、親を通じて出前授業の内容が倍々ゲームで広がり、必ずや日本社会の将来に役立つと信じて取り組むべき

## (2) クラブ職業奉仕委員会での試行

### ➤ 2007-08 年度

- ① 大阪府教育委員会へ相談し、会員有志 15 名が「学校支援人材バンク」に登録
- ② 市教委の推薦、紹介等により下記中学 2 校で出前授業を実施
  - ・ 2008 年 6 月 12 日 (木) 大阪市立天満中学校  
対象：3 年生 106 名  
講師：クラブ会員有志 6 名 (その他会員以外の外部講師数名)  
テーマ：「キャリア学習」(学ぶことの大切さ)
  - ・ 2008 年 6 月 25 日 (水) 大阪市立花乃井中学校  
講師：クラブ会員有志 2 名  
テーマ：「職業講話」
- ③ クラブとして初の取り組みとなったものの、両校の校長先生から高い評価を頂き、次年度以降の継続依頼を受けました。

### ➤ 2008-09 年度、2009-10 年度、2010-11 年度、2011-12 年度

上記年度は、継続依頼を受けた市内中学校 2 校に対し、出前授業を行いました。

2 校ともテーマ、形式等、初年度とほぼ同等です。

一方、会員個人が直接依頼を受けた出前授業もクラブに報告がありました。

- ・ 2009 年 2 月 2 日 (月) 大阪市立新北島中学校  
講師：クラブ会員 1 名 (職業分類：婦人科医)  
テーマ：「命の尊さについて」
- ・ 2012 年 2 月 10 日 (金) 大阪市立大正中央中学校  
講師：クラブ会員 1 名 (職業奉仕副委員長)  
テーマ：「考えよう、自分の将来を」

※ 天満中学校での出前授業は外部講師の派遣元の一つという位置付けもあり、2012 年 6 月を最後にクラブとしての取り組みを終了



(3) 花乃井中学校での出前授業定例化

➤ 一日オブザーバー校長 2009年9月7日(月)

クラブの例会会場(リーガロイヤルホテル)直近で出前授業を試行し始めた大阪市立花乃井中学校の校長から「学校運営へのアドバイスを」という依頼を受け、前年度職業奉仕委員長が出向き、「一日オブザーバー校長」をしながら学校側と意見交換。

ロータリークラブが支援できそうで、且つ効果も期待できるテーマの一つとして「道徳教育」を提案し、学校側の同意も得られて、以後の大阪ロータリークラブによる「道徳特別授業」の定例化につながるようになりました。

➤ 花乃井中学校への出前授業「道徳特別授業」

・2009年2月15日(月)、2月22日(月)、3月15日(月)

対象： 1年生 および 2年生 16クラス 約600名

講師： クラブ会員有志9名

テーマ等： 「道徳関連」として会員各自の設定

⇒ 表1

・2010-11年度以降もクラブ職業奉仕委員会の活動として毎年実施

講師： 毎回クラブ会員から有志を募集

各年8~12名程度が対応

⇒ 表2

表1 初期の取組み例 花乃井中学校での出前授業(2009年2月、3月)

講師	職業分類	年齢	会員歴	授業タイトル
Y. H	研究・教育	56	6年	私が見たカンボジアとその子供たち
N. H	建築設計	60	5年	建築業界でやってはいけないこと
T. K	スポーツ	69	2年	感謝
Y. M	内科医	67	15年	食べ物と健康
O. S	資産運用C	78	8年	人間は一人で生きていけない
S. S	ガラス工業	69	8年	100年後の未来社会
T. U	外科医	72	6年	脳の働き、脳の病気
H. S	不動産経営	65	4年	大事なこと、大切なこと

表2 最近の取組例 花乃井中学校での出前授業（2018年2月）

講師	職業分類	年齢	会員歴	授業タイトル
S. H	内科医	72	15年	【命】生きることの大切さ
H. N	航空運輸	59	4年	【夢】航空会社の仕事とは
Y. S	教育	70	12年	【夢】夢と目標
B. S	内科医	74	18年	【命】先人に学ぶ医師の心がまえ
S. S	ガラス工業	77	16年	【絆】人は独りでは生きられない
F. T	建設	68	8年	【絆】スマホを手離せない！？
S. T	不動産経営	63	6年	【絆】沿線まちづくりの仕事
E. T	研究・教育	73	10年	【夢】運について-研究者の場合-
R. T	電子機器製造	70	8年	【絆】世界の中の日本

(4) 大阪国際学園大和田高等学校での出前授業開始

- 2011-12年度からは、新たにクラブ会員が理事長を務める私学・大阪国際学園大和田高等学校への出前授業を開始しました。
- 中学生のみでなく、小学生もしくは高校生まで対象を広げようと声が上がっていたなかでの取り組みとなりました。
- 高校生対象ということで文系クラス・理系クラスを意識しつつ将来の進路選択の参考にもなるような話題やテーマを、各講師とも工夫しながら毎年実施しています。

・2011-12年度以降、毎年実施

対象：高校2年生（聴講希望テーマごとに30人前後でクラス分け）

講師：毎回クラブ会員から有志を募集

各年10～15名が対応

テーマ等：主に理系向け、文系向け、総合等を意識しながら会員各自が設定

⇒ 表3

表3 高等学校での出前授業例（2018年10月）

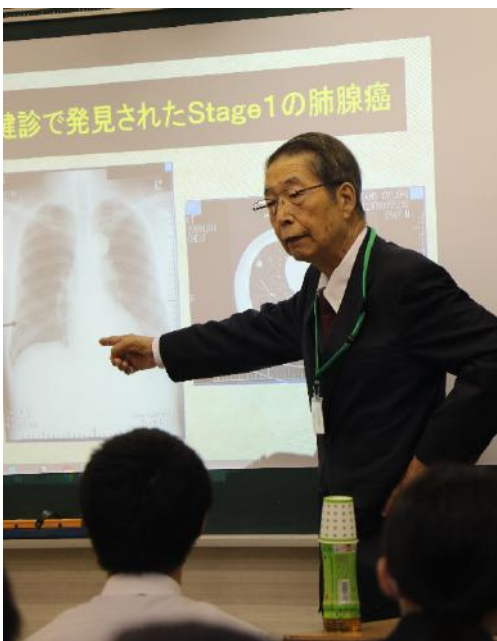
講師	職業分類	年齢	会員歴	授業タイトル
S. H	内科医	73	16年	医療者を志す君達へ
T. O	研究・教育	84	30年	地球温暖化と海面上昇
Y. S	教育	71	13年	仕事の選び方
Y. S	建築設計	64	21年	建築とその使命
B. S	内科医	75	19年	癌の克服を目指して
S. S	香料製造	65	18年	香料の役割－調香師とは？－
F. T	建設	69	9年	IOT時代における光通信の役割
E. T	研究・教育	74	11年	星の大爆発と重元素の起源
R. T	電子機器製造	71	9年	世界の中の日本の役割

(5) 大阪ロータリークラブ職業奉仕委員会活動としての特徴

➤ 絶対数は勿論、多種多様な職業分類に属する会員が在籍する大阪ロータリークラブならではの出前授業が実現できていると思っておりますが、最後に何点か特徴をあげておきます。

- ・ 学校（教員、生徒）側からの好評を得て、継続実施していること
- ・ 毎回10名程度の講師派遣による大阪ロータリークラブ単独での出前授業
- ・ 個々の会員による、バラエティーに富んだ独自の授業内容
- ・ 出来るだけ多くのクラブ会員に対して出前授業へのチャレンジを推奨
- ・ クラブ会員に対する“V o c a t i o n a l S e r v i c e”意識付けへの一助

以上



## 事例2 大阪西ロータリークラブ

### 基本方針

職業奉仕とは会員各人が高い倫理観を持ちつつ職務を遂行する事と考え、その職業を通じて社会に貢献するという考え方を実践することである。

会員に対しては職業奉仕活動の実践の機会を提供し、職業奉仕の意味重要性を認識してもらうための事業を推進する。

### 出前授業及び職場体験を行う目的

また事業活動を通じて青少年に職業の大切さや社会のしくみ、働く事の意義意味を理解して頂く機会を設け、社会有為の人材を育成する理念を持って活動することを目的として行動しております。

例年の方針に準じている内容であるが、青少年に対して近い将来社会で活躍してもらう準備のための教育指導活動に職業奉仕委員会活動を通じて会員の皆様に参加協力要請を行っています。

### 活動事例

具体的活動と致しましては、下記の内容を取り組んでおります。

#### 1. 職業奉仕に関しての卓話を実施しております。

1月28日例会にて北村元委員長様に卓話を実施して頂きました。

#### 2. 職業奉仕月間にクラブフォーラムを実施しております。

卓話終了後クラブフォーラムを実施し、会員同士で職業奉仕に関して各人の考えを出し合いました。

#### 3. 職場訪問を実施しております。

ビール会社の工場見学や裁判所見学などの職場訪問を通じて、異業種の会員の職業に関してより理解を含める機会を設けております。

#### 4. 出前授業を実施する。

大阪市鶴見商業高等学校の2年生を対象に出前授業を実施しております。

例年4日間で計6人の会員が出前授業を実施しております。

詳細は下記に紹介させて頂きました。

#### 5. インターンシップを実施する。

鶴見商業高校の学生を対象に7月25日～8月24日の夏休みの期間を使い実施。

3社の企業様にてインターンシップ(職場体験)の受け入れを行いました。

上記職業奉仕に関わる活動の中で、**職場体験**と**出前授業**に関しまして詳細を記述させて頂きます。

## 【職場体験】

**対象.** 8月の夏休みを利用し、大阪市鶴見商業高等学校の2年生を対象に大阪西ロータリークラブ会員の企業様におきまして職場体験を実施して頂きました。

**目的.** 職場体験を通じてただ仕事を体験して頂くということだけではなく、これから社会人として仕事を行う上でなぜ仕事をするのか、意義を持つことの大切さなどを学んで貰うことを目的としております。

職場体験をして頂いた生徒さんには感想文を書いて頂いており、今後の参考にしております。

### <感想文1>

私は職場体験に参加させて頂いて、初めは作業でわからないところばかりでしたが、わからない箇所を質問するとわかりやすく丁寧に教えてくれました。担当者の方が優しくてあまり気を遣わずわからないところを質問することができたこと、質問をしてなかったら仕事ができなかったから、自分一人ではなく職場の人に支えられて協力しながら仕事ってしていくんだと思いました。職場体験に参加させて頂いた経験を今後の進路の参考にしていきたいと思いません。

### <感想文2>

私は将来事務職に就きたくて1日就業体験をさせて頂きました。その中で得たものは沢山ありました。お伺いする前はパソコンだけの事務作業になるのかなと思っていましたが、名刺の渡し方や目上の方との接し方、初対面の方とどう会話を弾ませるかなど、多くのビジネスマナーや働いていく上での常識なども教えて頂きました。また、教えて頂いた中で特に印象に残ったお言葉が「働く事に対して意志を持って欲しい」というお言葉です。多くの方が何故働くのかと問われたら、まず「生活の為」と答えると思います。ではその次です。2つ目の理由は何ですかと問われると答えはそれぞれ分かれると思います。その2つ目の理由が真の働く理由だと教えて頂きました。担当者様は「働くというのは はた(他人)が らく(楽)になる事だと思っている。だから働く事に対してどうか自分なりの意志を持って欲しい。意志が無かったらそれはロボットと同じに過ぎない」とおっしゃっていました。それを聞いて私は職業体験に参加して心から良かったと思いました。



その後も簡単な作業から本格的な事務作業まで実習させて頂いて働く事がより楽しみになりました。

今回の職場体験でとても貴重な経験をさせて頂き本当に感謝しかありません。

今回学んだ事を今後の就職活動に行かせていけたらと思います。

改めてこの度は職場体験をさせて頂き本当にありがとうございました。

### 【出前授業】

**対象.** 大阪市鶴見商業高等学校の2年生を対象に出前授業を実施しております。

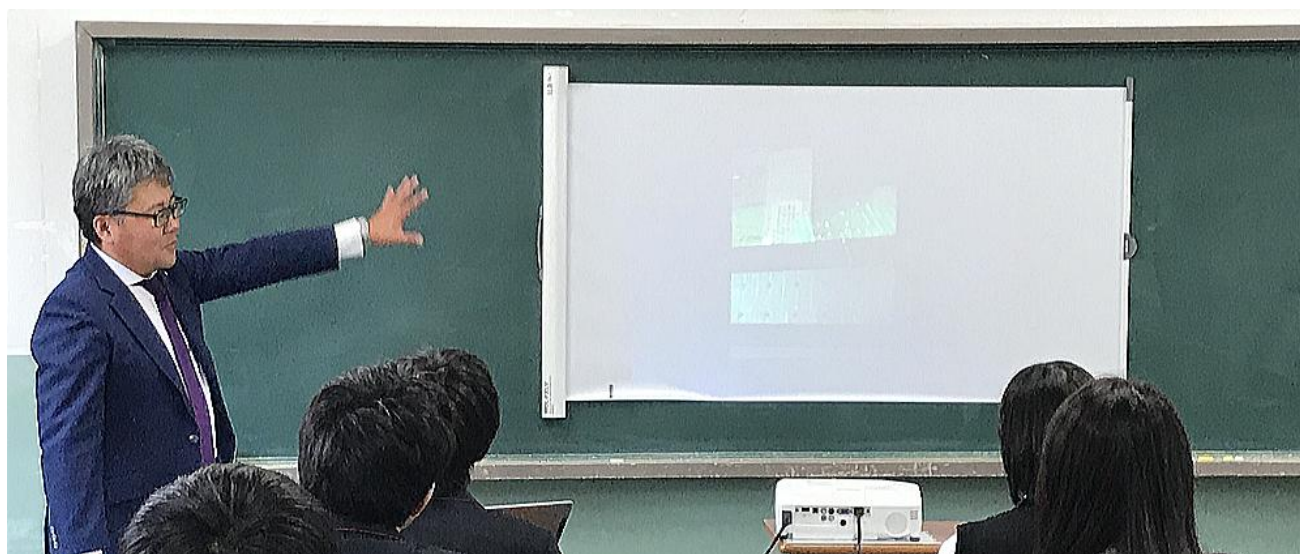
例年4日間で計6人の会員が出前授業を実施しております。

**目的.** 鶴見商業高等学校は高校を卒業して就職される高校生も多く、職業の大切さや社会のしくみ働く事の意義意味を理解して頂くことを目的としております。

**授業内容.** 授業の内容に関しては、授業を行う会員にお任せしております。

**事例1.** 昭和湯という銭湯を経営されている会員がおられます。その方の授業は「創業90年 お風呂屋さんの話」と致しまして、創業当時の写真を見せながら銭湯の歴史や縮小傾向にある銭湯業界を再び盛り上げるために今取り組まれているイベントの紹介や活動内容をご説明されていきました。

### 授業風景



**事例 2.** 文具事務用品の製造を行う会社を営んでいる会員がおられます。その方の授業は「文房具の製造業について」と致しまして、実際にファイルができるまでの工程をプロジェクターで映してご説明され、日頃使っているファイルがどのように出来上がるのか興味深く生徒さんは聞いていました。

### 授業風景



以上が大阪西ロータリークラブの職業奉仕活動でございます。



### 事例3 大阪東南ロータリークラブ

#### 【出前授業】

##### ・出前事業の経緯について

当クラブは2013年10月に地区の職業奉仕委員会より当時の職業奉仕委員長（宇佐美氏）宛に出前授業の依頼がありました。依頼先は東南RCのテリトリーである生野区の田島中学の石川校長様からの依頼との事でした。その後、地区の職業奉仕委員長が例会に来られ、職業奉仕委員長の宇佐美氏は当時の会長（杉浦会員）と幹事（高崎会員）と一緒に会われ、翌年2014年2月に第一回目の出前授業を行っています。

以降毎年、職業奉仕委員長が田島中学にコンタクトを取り、開催日時や内容を打合せを行い、決定後に校長から正式な書面が届きます。

基本的に毎年2月に行われており、基本的に職業奉仕委員長か副委員長が講師で行っています。今年度は先方の都合で2018年7月9日に実施しています。

##### ・出前授業の実施内容について

実施内容につきましては、学校側からの依頼事項に基づき行っています。学校側からは、いろいろな職業で活躍されている人生の先輩から、現在の職業につかれた動機、仕事の内容、やりがい等についてお話しいただき、生徒たちが働くことの意義や職業に対する理解を深め、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を付け、将来に対する展望を持たせることを主旨として話しをして欲しいとの依頼をいただいております。当クラブでは、職業奉仕活動の人づくりと考えて取り組んでいます。

対象は中学生2年生（1グループ生徒15～20名 時間1時間30分）で講演のテーマは「職業と生き方を考える」です。

具体的な内容としましては、

- ・中学生の頃のような（友人関係、勉強、部活動）

- ・高校に進学した動機・目的

- ・現在の職業に就かれた動機・目的

- ・現在の職業について

（仕事の内容、苦労したこと、良かったこと、この仕事に就くには）

- ・現在の中学生に望む事

- ・実務としての実演や作業的な取組み等

などを中心に、次世代の育成を課題として行っています。

・実施事例

2018年7月9日 大阪市立田島中学校にて出前授業を行いました。

[日 時] 2018年7月9日(月) 10:45～12:15

[場 所] 大阪市生野区田島 5-23-7 大阪市立田島中学校

[テーマ] 塾の仕事を通して知った、夢を叶える方法

[講演者] 高木秀章会員

[当クラブ参加者] 北村、村上、磯野、田中、松崎



田島中学校の出前授業は2014年から始まっており、現在まで続いています。  
職業奉仕委員長が毎年出席して出前授業を行っています。

2014年「ヒット商品をつくるための4つの秘密」参加者中学生70名 教員7名  
会員13名

2015年「職業と生き方を考える」 参加者 学生・教員 30名

2016年「職業と生き方を考える」

2017年「今に生きる家訓社訓」（会社永続に対しての家訓の重要性について）

2018年「弁護士の仕事」（個人個人の価値が如何に有るかについて）

ここで、2014年（第一回）のご紹介をいたします。

職業奉仕委員会 榛木 博章

本年度職業奉仕活動の一環として下記要領にて、出前授業を開催いたしました。

日時：2014年12月10日（水曜日）（授業開始14：20～15：10終了）

場所：大阪市立田島中学校 正門側エントランス（大阪市生野区田島5丁目  
23番7号）

講師：株式会社エンジニア 高崎充弘様

参加：中学1年70名、教員7名、ロータリー会員13名

授業終了のチャイムが鳴り、2階多目的室に男女総勢70名の生徒が次々と入ってきました。先生の指示に従って2クラスきちっと整列し、体育座りにて始業のチャイムを待ちます。

まず最初に、石川校長先生より出前授業と大阪東南ロータリークラブについての紹介と説明があり、その後、作業着姿の高崎会員の軽快な面白トークによる、「ヒット商品をつくるための4つの秘密」と題する授業がスタートしました。ネジザウルスGTの誕生秘話と、なぜ爆発的ヒットを生んだかのMPDP理論について図や模型、映像を使って、解りやすく楽しく授業を進めていただきました。

中学一年生と聞いていましたので、ざわざわ、ぺちやくちゃも少し予想していたのですが、終始熱心に聞き入る生徒の姿に大いに感動を覚えた次第です。高崎会員の話の内容が素晴らしかったのは間違いないのですが、それとともに田島中学の先生による日常の教育姿勢が垣間見れた出前授業となりました。



大阪市立田島中学校 天候に恵まれました



石川校長による出前授業と大阪東南 RC の紹介



技術の時間らしく図と模型を使っでの授業



終盤にサプライズにてウルス君が登場、好評でした



12月生まれの生徒にウルス君のぬいぐるみを贈呈



生徒代表より謝辞を受ける高崎会員

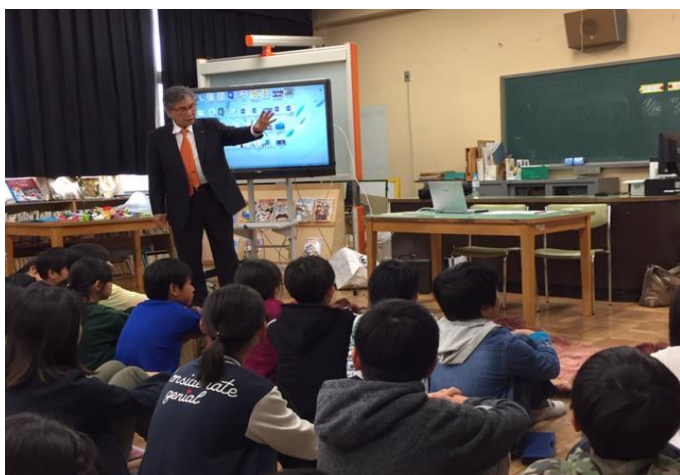
以上を持ってご紹介とさせていただきます。

## 事例4 大阪船場ロータリークラブ

### 【出前授業】

17年前から年3回学期ごとに、八尾市立竹渚小学校において5・6年生を対象に出前授業を行なっています。その内容は、ボランティアの話はもちろん、人としての道徳的な話もしています。

それ以外に、歯科医療ボランティア活動と共に行なっている、それぞれの国の文化交流です。竹渚小学校の子ども達の描いた絵や折り紙や手紙を、直接現地の小学校の生徒と交換する架け橋となっています。子ども達は直接手に取ってバヌアツやフィリピンの食文化や生活を学びます。



食事をしながらいろんな質問を受けてコミュニケーションをはかっています。子ども達も笑顔がこぼれます。





給食後は、廊下に設置された手洗い場でハブラシ指導を行い皆で歯を磨いています。



図書室にて、クラスの生徒達と一緒に記念撮影。



## 【職場体験】

歯科医院の受付の所に「抜苦興楽」という額を掛けています。これは経典の中にある一節で、「苦を抜き楽を与える」という意味です。

患者様はいつも肉体的な苦痛と精神的な苦痛をもって来院します、医者はその患者様の苦痛を取り去るのが務めです。これは私の医療に対する哲学です。いつもその精神で仕事をしていると言う事を説明しています。



生徒さんに歯がいかに健康に重要であるかという事をわかりやすく説明しています。



子ども達に患者様になってもらい、それぞれの歯型の型取りをして模型をお土産に持って帰ってもらいました。





歯科衛生士が子ども達にパネルを使って、ジュースやお菓子に含まれるお砂糖の量を説明し、おやつの量と食べ方で虫歯が増える関係性を教えているところ。



開平小学校の校長先生率いる6人グループの皆さん。  
RCからのお土産と自分の歯型を持っている所。



以上